

# 通信小海

「救いの土台は神にある」

牧師 荒籾 実 あらかみ じつ

「救いとは何か」という問いに対して、多くの方は、困難や窮する中からの助けであったり、心に安堵や慰めを与えるものを思い浮かべるかもしれません。そして、精進や鍛錬によって得られるものであると考え、自己の救いのために、何がしかの努力を積むこともあ



なく、まさに神の力です。そして、キリストのよみがえりは、キリストが十字架上で成し遂げられた救いの御業を、神が完全に受け入れられたこととの証拠であり、宣言です。同時に、私たちの「救い」の土台が、キリストの死と復活にこそあるという事実です。この救いの土台は、自分にあるのではなく、救ってくださる神、永遠に変わることのない神にあるのです。

救われる(罪を赦され、神の御前に義と認められる)ために何をしなければならぬか…それは、聖書に記されたみことばを信じ受け入れること、ただそれだけです。信じる者は誰でも、神の約束どおり救っていただけるのです。この神の約束に信頼すること以上に確かな土台はありません。

揺るがない平安と希望を頂いて、感謝と喜びに満ちた人生を共に歩んでまいりましょう。



聖書を読んだサムライたち

もうひとつの幕末維新史

守部 喜雅【著】

第三章・

自由民権運動の嵐の中で

⑥

翌日の夜、その魚屋さんに来てもらい、家で集会を開き、互いに聖書を読み、祈りをささげました。翌朝、義母は言いました。「自分は昨夜半ごろ目覚め、それきりどうしても眠れぬまま神様を思い続け、夜の明けけるに従い、しだいに信仰心が起きてきた。自分は、これから子どもを学校に送って行くから、留守の間に、偶像やお札を捨てて欲しい」

直寛にとって、この義母の回心は、

神の真実と愛を実感する機会ともなりました。自分は理論的に神を信じたと言っていた直寛も、この時ばかりは深い悔い改めに導かれます。

「ああ、主の愛のいかに深いことか。私のような傲慢で無神論者の罪人をも忍んで下さり、時至って過去のすべての罪を赦したまい、救いの道、真の道に導いて下さった。その上、頑固な老母をはじめ家中の者にも厚い恵みを下さり、これらことごとく主の福音にあずかせたもうたのである。感謝、歓喜は何にたとえようもない」

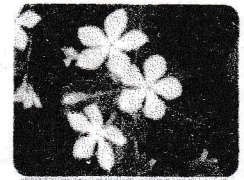
直寛ら立志社のリーダーの回心は活動そのもののあり方を変えました。高知県内の活動は、政府を正面攻撃する政談演説会から、農村を含め県内各地で開かれるキリスト教演説会に切り替えられたのです。

ところで、坂本直寛のキリスト教徒としての後半生は、決して順風満帆な人生ではありませんでした。《続く》



# ニチニチソウ

日日草・日々想



ジグソーパズル

一枚の絵を幾つかのピースに分解して、それを再び組み立てるジグソーパズル。英語の Jigsaw (ジグソー) は糸鋸で、元々、木の板を糸鋸で切つて作られたことからこの名前がついたようです。ロンドンの地図職人が、子どもの教育のために、ピースが国の形のジグソーパズルを作ったのが最初と言われ、小さい子の知育玩具としても親しまれています。可愛いキャラクターで数ピースのものから、10,000ピースを超える大型のものまで幅広く、どのご家庭にもひとつはあつたのでは無いでしょうか。

完成した大作のジグソーパズルが

額に入つて飾られているのを見ると、「すごいなあ」と感心し、ついつい見入つてしまいます。「いつか自分もチャレンジしてみたい！」と言うのはただの憧れで、そんな根気はないな…と、端から諦めているような私ですが、それを眺めながら、人生もジグソーパズルと似たところがあるな…と思つたりするのです。

出会いや経験、選択、日々の中にある事柄の一つ一つが、人生を完成させるパズルのピースであるなら、そのピースを一つ一つはめ込んで絵を作り上げていくのが人生だと言えるかもしれません。ただ、普通のジグソーパズルは完成の絵が分かっているものですが、人生のジグソーパズルは未知…完成図が分からないで取り組む難しさがありません。

子どもと一緒にパズルで遊んでいると、ばらばらのピース一つ一つから絵が見えてこない時は、「これはどこ?」「ここかな?」と迷い迷いであつても、少しずつ全体像が見えてくると、ピースをはめる位置が分かり「これはここだ!」と、迷いの表情から一転、自信と喜びの表情

に変わり、どんどんスピードアップして完成させます。

人生のパズルにおいては、サクサクと手を進めてピースをはめ、完成する絵がどんどん見えてきて、期待に膨らむ日々を過ごす時があれば、ピースが見つからず探しているばかりで進まない、あるいは、ピースをどこにはめたら良いか分からず、立ち止まつてしまうような時もあります。それでも、私たちの人生には神様の完成図がすてにあるのです。

神様と出会つて人生の意味や目的が分かると、聖書のみことばに裏付けられたピースを、確信をもつてはめていくことが出来るようになります。それは、完成図を知っている神様が、端から順に「次はこれ」とピースを与えてくださるようなイメージで、自分には分からなくても、それを素直に受け取つて置いていく時、間違いなく完成に近づくと、不安と希望があるのです。

まだまだ完成図は見えてこなくても、この春、また新しいピースが与えられる…そんな期待を持つ季節です。





# 小海がん哲学 カフェそると



当事者の方、ご家族、友人など、どなたでもお気軽にお越しください。  
皆さまにとって良い塩梅の場になるようにと願いつつ、お待ちしております。

日時： 4/20(火)、5/18(火)、6/15(火)

\*各回 13時30分～15時

場所：小海キリスト教会 長野県南佐久郡小海町大字小海4355-27

参加費：200円(お一人様) ※筆談または手話での対応もできます。

お問い合わせ：090-1801-4012(佐藤) SMSでもお気軽にご連絡ください。

後援 一般社団法人がん哲学外来

## がん哲学カフェとは

「病と共に自分に与えられた人生を尊厳をもって生き切る」ことに向き合う。これが、がん哲学です。より多くの方が「病気であっても病人ではない」安心した人生を送れるように寄り添う場として、背景や立場が様々な方が集い対話する「カフェ」という形をとって全国に広がっています。

## 新型コロナウイルス

### 感染拡大防止のために

お互いの心身の健康のため、下記事項にご理解とご協力をお願い致します。

○入館前の手指の消毒、マスク着用、検温にご協力ください。

○氏名、連絡先のご記入をお願い致します。  
あらかじめご了承下さい。

## 生活困窮者支援

山谷(やま)農場

### 新年度も

よろしくお願い致します

新しい季節、年度の始まりです。

新型コロナウイルス感染症に関する動向は余談を許さぬ状況が続いており、窮地・極地に立たされる方が後を絶ちません。生活困窮者支援のために、お米(2018年以降うるち玄米)、海苔、未使用切手・ハガキを、この春もどうぞお寄せください。

〈連絡先〉藤田 寛

☎090-1436-6334

メール nyoro@beige.ocn.ne.jp



〈物資送付先〉小海キリスト教会、または、南牧村社協へ。〒384-1302南牧村大字海ノ口966-15南牧村社会福祉協議会 会気付 山谷農場事務局(藤田) カンパ:〒振替〇〇二四〇四一五三七九六 ☆活動の近況などは、山谷農場フェイスブックをご覧ください。